

# 構 造 体 検 査 報 告 書

J I O (日本住宅保証検査機構)

報告書提出日	2005年3月18日	検査日時	2005年3月18日 16時00分 ~
検査担当者	岡村 文嗣	検査立会者	安永 雄亮
ビルタ-登録No	A6100077	ビルタ-様名	(株)森田住宅
登録物件No	Y0444547	現場名	様邸
構造体検査合否判定		合格	

項目	方法	内 容	判定	備 考	
基 礎	△	著しいじゃんか、空洞及び亀裂等が発生していないか。	○	×不合格の場合は状況記入のこと	
	▲	基礎立上がり高さ及び幅は設計図書通りか。 立上がり部分 内側高さ(360)mm 幅(150)mm *立ち上り幅:120mm以上	○		
	▲	コンクリート打ち継ぎ部の浸透水対策は適切か。 (内部土間面がGLよりも50mm以上高く設定されているか、または防水施工が行われているか)	○		
	△	生コン納品伝票で①コンクリート呼び強度②スランプ値を確認。 ①(21)N/mm <sup>2</sup> ②(18)cm ・設計コンクリート強度F <sub>0</sub> :18N/mm <sup>2</sup> 以上	○		
	▲	補正圧縮強度:F=25.9(N/mm <sup>2</sup> ) F≥F <sub>0</sub> を確認 (テストハンマーと日本材料学会標準式により算定)	○		
	▲	床下換気口の設置状況は適切か。 <input checked="" type="checkbox"/> 基礎パッキン <input type="checkbox"/> 基礎断熱は除外 4m以内毎に設けているか。	—		基礎パッキン工法
	▲	基礎断熱の場合断熱材の種類及び厚みは設計図書通りか。	—		該当なし
	△	床下地盤面の防湿対策は行なわれているか。 (防湿フィルム、防湿コンクリート、ベタコンクリートのいずれかが施工されているか。)	○		ベタコンクリート
ア ン カ ー ボ ルト	△	筋交い又は構造用合板を設けた耐力壁の部分は、その両端の柱の下部にそれぞれ近接した位置にアンカーボルトを設けてあるか。	○		
	△	土台切れの個所、土台継手及び仕口個所の上木端部。 なお、当該個所が出隅部分の場合は、できるだけ柱に近接した位置にアンカーボルトを設けているか。	○		
	△	アンカーボルトの締結具合は適切か。 (ナットは確実に締め付けられているか) (ナットよりもボルト頭が3山程度出ているか……特殊埋め込みアンカーの場合は対象外)	○		
	△	アンカーボルトには適切な金物を使用されているか。 (Z金物または同等品)	○		
	△	アンカーボルトの座掘りは、深すぎないか。 (50mm以内の深さであること。)	—	座掘りなし	

方法の凡例：■全数を計測確認 □全数を目視確認 ▲抽出で計測確認 △抽出で目視確認  
判定の凡例：○合格 ×不合格 —該当なし (抽出は全体の1割程度の数とする)

項目	方法	内 容	判定	備 考
床 束	△	束石又は耐圧盤が設けられているか。	○	×不合格の場合は状況記入のこと  束間は根がらみ貫にて補強
	△	床束の種類、間隔及び緊結方法は適切か。 種類 ( 木製束 ) 間隔 ( 950 mm ) 緊結方法 ( <input type="checkbox"/> 番線 / <input checked="" type="checkbox"/> カスガイ・ <input type="checkbox"/> くぎ / <input checked="" type="checkbox"/> ボンド )	○	
	△	大引、床束、束石に浮きはないか。	○	
土 台 ・ 大 引 き	△	基礎と土台は一致しており、基礎長さに不足はないか。	○	
	▲	土台の断面寸法は柱と同寸以上であるか。 土台断面寸法 ( 120 mm × 120 mm ) ・土台 (標準例) 105×105以上	○	
	△	土台継手位置は適切か。		
		柱の下部に近接した位置に設けてはいないか。	○	
		床下換気口上部で設けてはいないか。	○	
	△	火打ち土台が土台よりも上に突出していないか。	○	
△	火打ち土台の位置は図面通りか。	○		
軸          組	▲	柱の断面寸法は図面通りか。 通柱 ( 120 mm × 120 mm ) 管柱 ( 120 mm × 120 mm )	○	該当なし
	<input type="checkbox"/>	通柱、管柱の位置は図面通りか。	○	
	<input type="checkbox"/>	床下換気口は柱位置を逃がっているか。	○	
	<input type="checkbox"/>	耐力壁(筋かい含む)の位置は設計図書通りか。	○	
	<input type="checkbox"/>	耐力壁(筋かい含む)の仕様は設計図書通りか。	○	
	△	合板耐力壁の釘どめは法に適合しているか。	—	
	<input type="checkbox"/>	梁の断面寸法は伏図通りか。	○	
	<input type="checkbox"/>	梁の継手位置が不適切な位置に設置されていないか。	○	
	<input type="checkbox"/>	柱と土台や胴差などの横架材との接合部に隙間はないか。	○	
	<input type="checkbox"/>	筋かいと、柱、土台、胴差などの接合部に隙間はないか。	○	
	<input type="checkbox"/>	軸材の接合部の芯ずれはないか。	○	
	<input type="checkbox"/>	上下階の柱の芯ずれはないか。	○	
	▲	柱は垂直及び梁は水平か。	○	
	<input type="checkbox"/>	接合部の補強金物は適切に設けられているか。 土台・通柱 ( <input type="checkbox"/> かど金物・ <input type="checkbox"/> 山形プレート・ <input checked="" type="checkbox"/> ホールダウン金物・ <input checked="" type="checkbox"/> その他 )	○	
△	土台・横架材と柱 ( <input type="checkbox"/> かど金物・ <input type="checkbox"/> 山形プレート・ <input checked="" type="checkbox"/> ホールダウン金物・ <input checked="" type="checkbox"/> その他 )	○	コーナープレート タイシンニート	
	上下階の柱 ( <input type="checkbox"/> 短ざく金物・ <input type="checkbox"/> ひら金物・ <input type="checkbox"/> 山形プレート・ <input checked="" type="checkbox"/> その他 )	○	コーナープレート タイシンニート ホールダウン金物	

方法の凡例：■全数を計測確認 □全数を目視確認 ▲抽出で計測確認 △抽出で目視確認  
判定の凡例：○合格 ×不合格 —該当なし (抽出は全体の一割程度の数とする)

項目	方法	内 容	判定	備 考
軸	△	筋交いと柱・横架材 ( <input checked="" type="checkbox"/> 筋交いプレート・ <input type="checkbox"/> ひら金物・ <input type="checkbox"/> その他 )	○	×不合格の場合は状況記入のこと
		梁と横架材・梁 ( <input checked="" type="checkbox"/> 羽子板ボルト・ <input type="checkbox"/> その他 )	○	
		小屋梁・母屋と小屋束 ( <input checked="" type="checkbox"/> かすがい・ <input type="checkbox"/> SW天井断熱の場合は梁にビス止め・ <input type="checkbox"/> その他 )	○	
		垂木と桁・母屋 ( <input checked="" type="checkbox"/> ひねり金物・ <input type="checkbox"/> 折曲げ金物・ <input type="checkbox"/> くら金物・ <input type="checkbox"/> その他 )	○	
組	△	金物工法の場合のドリフトピンの抜けはないか。	—	該当なし
	□	梁成300mm以上の梁は羽子板ボルトを2本使用しているか。(その他)	○	
	□	小屋束は桁行き筋交い、振れ止め等で固定しているか。	○	
	□	小屋束は小屋筋交い等で固定しているか。	○	
屋根	△	屋根の仕上り状態に問題はないか。	○	
	▲	下屋の壁面と屋根下ぶき材の取合い部の立ち上げは瓦葺の場合250mm、その他の場合120mm以上あるか。	○	
	□	下屋の軒先と壁面との取合い部分には捨谷、及び雨押え板金先端の折返しがつけられているか。 (該当する部位がある場合のみ確認)	—	未施工
耐久性	▲	軸組み材は乾燥材又は集成材を使用しているか。 (乾燥材は図面指示の含水率25%以下のものであるか) ※乾燥材を使用している場合は含水率を計測する。 柱 ( 11.2 % ) 梁・胴差 ( 21.1 % )	○	集成材は材料確認のみ
防腐防蟻措置	△	次の個所に防腐防蟻処理はされているか		
		外周部・柱・間柱・筋交等の図面指示の高さ範囲 <input checked="" type="checkbox"/> GL+1m・ <input type="checkbox"/> その他・ <input type="checkbox"/> 通気層	○	
		土台、大引き、床束等 ( <input checked="" type="checkbox"/> 薬剤・ <input type="checkbox"/> 樹種 )	○	*樹種名:
		土壌処理 基礎・束周辺20cm以上 (但し、基礎外部は除く) (べた基礎の場合は土壌処理は不要とする)	—	べた基礎

特記仕様にある場合に限り、併せて以下の項目を確認します。

基礎	▲	立上り幅：150mm以上	—	
	△	コンクリート呼び強度：21N/mm <sup>2</sup> 以上	—	
屋根	△	屋根下葺ルーフ材は設計図書通りか。(該当仕様をチェック) <input type="checkbox"/> ゴムアスファルト系ルーフ【例：ライナーーフ、ホームルーフ等】・ <input type="checkbox"/> その他	—	
防水	□	図示による開口部先貼り防水シートが施工されているか。	—	

方法の凡例：■全数を計測確認 □全数を目視確認 ▲抽出で計測確認 △抽出で目視確認  
判定の凡例：○合格 ×不合格 —該当なし (抽出は全体の一割程度の数とする)